

テクニカルレポート2017発刊にあたり

皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、ニックステクニカルレポート2017をお届けいたします。2016年度に発注者の皆様からいただいたお仕事を中心に、知見となるものをピックアップして取りまとめたものでございます。まだまだ技術研鑽の道半ばではありますが、ご笑納いただければ幸いです。また今回も引き続き内閣官房参与の藤井聡京都大学教授に寄稿いただいております。今回は「日本を救うため、PB制約を撤廃し、「政策の自由度」を高めよ」として、現在問題となっているプライマリーバランスについて、あるべき対応について述べられています。

その他、当社のコンサルタント重点3事業分野である、ストックマネジメント事業、防災・減災事業、低炭素社会づくり事業について、代表的な事業を取り上げております。

さて、現在公共事業を取り巻く市場環境は一時の厳しい縮小時代を過ぎて、均衡期を迎えたと言えるかもしれません。2018年度以降の公共事業費がどのような傾向になるのか、今後の予算編成が注目されるところです。

我々は、今後もさらなる技術の研鑽を積み、公共事業の迅速かつ効率的な執行に微力ながら貢献していきたいと考えております。

最後になりますが、本レポートの題材となる機会を与えていただいた発注者の皆様に感謝を申し上げ、また弊社とお関わりのある全ての発注者の皆様のご発展を心より祈念申し上げ、略儀ながら御礼の言葉といたします。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

2017年9月

(株)新日本コンサルタント 代表取締役社長 市森 友明